

別記様式（第2条関係）

## 会議結果報告書

平成27年2月10日

会議の名称	臨時庁議
開催日時	平成27年2月10日（火）9時00分～9時57分
開催場所	庁議室
出席者職氏名	市長 香川武文、副市長 櫻井正彦、教育長 尾崎健市、 企画部長 中村勝義、総務部長 丸山秀幸、 市民生活部長 抜井 俊、健康福祉部長 吉岡利昌、 都市整備部長 谷沢嘉弘、上下水道部長 神木 茂、 会計管理者 谷口 敬、議会事務局長 高橋良和、 監査委員事務局長 原田隆一  (計12人)
欠席者職氏名	教育政策部 菊原龍治
説明員職氏名	【付議】 なし 【報告】 1 企画部長 中村勝義 2、3 総務部長 丸山秀幸 4 上下水道部長 神木 茂 【その他事項】 なし
議 題	【付議】 なし 【報告】 1 平成27年度施政方針について（企画部） 2 平成27年度志木市一般会計、特別会計及び企業会計当初予算について（総務部） 3 平成26年度志木市一般会計及び特別会計補正予算について

	<p>(総務部)</p> <p>4 平成26年度志木市下水道事業会計補正予算(第1号)について(上下水道部)</p> <p>【その他事項】</p> <p>なし</p>
--	---



補正額 ▲77,316千円  
補正後予算額 21,770,763千円

・平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

補正前予算額 8,707,077千円  
補正額 85,226千円  
補正後予算額 8,792,303千円

・平成26年度志木駅東口地下駐車場事業特別会計補正予算（第2号）

補正前予算額 55,773千円  
補正額 1千円  
補正後予算額 55,774千円

・平成26年度介護保険特別会計補正予算（第3号）

補正前予算額 3,403,747千円  
補正額 85千円  
補正後予算額 3,403,832千円

・平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

補正前予算額 763,746千円  
補正額 1,820千円  
補正後予算額 765,566千円

4) 平成26年度志木市下水道事業会計補正予算（第1号）について（上下水道部）

1 下水道事業会計の収益的収入及び支出（以下「3条予算」という。）のうち、雨水管渠の修繕にかかる事業の一部を資産形成にかかるものとし、雨水処理負担金及び雨水管渠費を減額し、資本的収入及び支出（以下「4条予算」という。）である他会計負担金及び雨水管渠整備費を同額分増額する。

2 館第一排水ポンプ場の管理及び執行に関する事務の委託

	<p>に関する規約に基づき、3条予算において発生する同ポンプ場の維持管理にかかる収支の余剰金分等を4条予算へ移動させ、基金に積み立てるための予算科目を整備する。</p> <p>○ 収益的収入及び支出</p> <table data-bbox="462 443 1308 817"> <tr> <td>収入</td> <td>補正前</td> <td>2,041,366千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補正額 雨水処理負担金</td> <td>△42,450千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補正後</td> <td>1,998,916千円</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>補正前</td> <td>1,978,380千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補正額 雨水管渠費</td> <td>△42,450千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雑支出</td> <td>7,200千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補正後</td> <td>1,943,130千円</td> </tr> </table> <p>○ 資本的収入及び支出</p> <table data-bbox="462 884 1308 1310"> <tr> <td>収入</td> <td>補正前</td> <td>495,209千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補正額 他会計負担金</td> <td>42,450千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>諸収入</td> <td>7,200千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補正後</td> <td>544,859千円</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>補正前</td> <td>745,785千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補正額 雨水管渠整備費</td> <td>42,450千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>積立金</td> <td>7,001千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補正後</td> <td>795,236千円</td> </tr> </table> <p>【その他事項】</p> <p>なし</p>	収入	補正前	2,041,366千円		補正額 雨水処理負担金	△42,450千円		補正後	1,998,916千円	支出	補正前	1,978,380千円		補正額 雨水管渠費	△42,450千円		雑支出	7,200千円		補正後	1,943,130千円	収入	補正前	495,209千円		補正額 他会計負担金	42,450千円		諸収入	7,200千円		補正後	544,859千円	支出	補正前	745,785千円		補正額 雨水管渠整備費	42,450千円		積立金	7,001千円		補正後	795,236千円
収入	補正前	2,041,366千円																																												
	補正額 雨水処理負担金	△42,450千円																																												
	補正後	1,998,916千円																																												
支出	補正前	1,978,380千円																																												
	補正額 雨水管渠費	△42,450千円																																												
	雑支出	7,200千円																																												
	補正後	1,943,130千円																																												
収入	補正前	495,209千円																																												
	補正額 他会計負担金	42,450千円																																												
	諸収入	7,200千円																																												
	補正後	544,859千円																																												
支出	補正前	745,785千円																																												
	補正額 雨水管渠整備費	42,450千円																																												
	積立金	7,001千円																																												
	補正後	795,236千円																																												
事務局職員職氏名	秘書広報課長 豊島俊二																																													
その他必要事項	特になし																																													

## 会議内容の記録（経過、結果等）

### 開会

企画部長が開会を告げる。

### 【付議】

なし

### 【報告】

#### 1) 平成27年度施政方針について（企画部）

##### ○概要説明：企画部長

平成27年度施政方針原稿作成方針に基づき、平成27年度施政方針を作成したので報告するものである。

#### 2) 平成27年度志木市一般会計、特別会計及び企業会計当初予算について（総務部）

##### ○概要説明：総務部長

平成27年2月20日に開会する平成27年第1回市議会定例会に平成27年度志木市一般会計、特別会計及び企業会計当初予算案を上程する。

今回上程する平成27年度予算案は、一般会計21,719,000千円、国民健康保険特別会計8,936,331千円、志木駅東口地下駐車場事業特別会計53,024千円、介護保険特別会計3,671,016千円、後期高齢者医療特別会計798,140千円、水道事業会計2,189,490千円、下水道事業会計2,756,424千円であり、総合計では、40,123,425千円で、対前年比6.1パーセントの増である。

内容としては、平成27年度志木市予算及び事業概要説明を作成しまとめた。まず、冒頭で平成27年度当初予算について財政環境と予算編成の基本的な考え方や予算規模を掲載した。

平成27年度における財政環境は、歳入面では、マンションの新築などに伴う納税義務者数の増加や個人所得の伸びなどにより、市税収入は増額すると見込んでおり、一方、国の平成27年度地方財政対策においても、地方税や地方交付税などの地方一般財源総額について、地方創生のための財源などを含め、前年度の水準を相当程度上回る額を確保するとされているものの、景気回復の動きは一部で弱まりを見せており、引き続き慎重にその動向を見極めていかね

ばならない状況にある。

歳出面では、少子高齢社会の進展に伴う医療・介護関係経費や保育需要の増加に対処するための保育園・学童保育クラブ関係経費の増加が見込まれるとともに、平成27年10月からの実施が予定されていた消費税増税は見送られたものの、この財源を活用した社会保障施策の充実は一部前倒しにて実施されており、さらに今後、本格実施が控えている状況にあり、また、庁舎をはじめとする公用・公共施設や道路・上下水道などインフラ資産の老朽化対策費については、多大な財政負担は避けて通れない道となっており、財政運営における大きな課題となっているところである。

このような財政環境の中、予算編成にあたりましては、これらの課題を見据え、「まちづくり35の実行計画を着実に推進する」、平成26年9月に予算編成に先立って実施した「サマーレビューの結果を踏まえた予算とする」、「我が国経済や国・県の動向をしっかりと把握し、時代の趨勢（すうせい）をとらえた的確な事業を考案する」、「国において創設された『まち・ひと・しごと創生本部』において示される具体的な施策を積極的に活用する」の4点を基本的な考え方とし、効果的な財源の配分に努めたところである。

この結果、平成27年度の予算案の規模は、冒頭のとおりとなった。

主な増減であるが、まず歳入として市税は増で対前年度比1億1,445万4千円（+1.1%）、国庫支出金も増で、対前年度比1億7,845万2千円（+5.6%）である。市債は減で、対前年度比▲2億6,750万円（▲17.4%）、繰入金は増、対前年度比5億6,056万円（+53.0%）とした。

一方、歳出の目的別では、総務費は増で、対前年度比1億4,275万2千円（+4.8%）、これは、新庁舎建設工事基本設計に要する経費、証明書コンビニ発行に要する経費等を計上したことから、対前年度比で増となった。民生費の増は、対前年度比9,574万9千円（+1.0%）で、子ども・子育て支援新制度の実施に伴う民間保育園運営助成の増加や自立支援介護・訓練等給付費の増加などにより、対前年度比で増となった。衛生費は減で、対前年度比▲1億2,675万1千円（▲8.3%）、病院事業清算に要する経費が減額となったことから、対前年度比で減となった。土木費は増で、対前年度比2億3,146万9千円（+11.8%）、宮戸橋、袋橋及び富士下橋の耐震化に要する経費を計上したほか、公園施設の維持管理や改修に要する経費を増額した。教育費は増で、対前年度比4億3,461万1千円（+20.7%、）少人数指導

教育の拡充、志木中学校及び宗岡中学校のトイレ改修工事、八ヶ岳自然の家の浄化槽更新工事を計上した。

また、歳出の目的別では、人件費は減で、対前年度比▲1億2,451万4千円(▲3.2%)、一般職の職員数が383人から369人に減少したことから、対前年度比で減となった。物件費は増で、対前年度比4億2,537万5千円(+11.8%)で、保育園派遣職員業務委託や財務会計システム移行費用の増などにより、対前年度比で増となった。扶助費は増で、対前年度比4億1,006万8千円(+7.6%)、子ども・子育て支援新制度の実施に伴う民間保育園運営助成の増加や自立支援介護・訓練等給付の増加などにより、対前年度比で増となった。補助費等は増で、対前年度比1億2,556万6千円(+3.3%)、TMG宗岡中央病院の建設にかかる武蔵野会負担金の計上や、後期高齢者医療広域連合負担金の増などにより、対前年度比で増となった。以上、一般会計の主な特徴である。

次に特別会計として、まず、国民健康保険特別会計は、予算額は、歳入歳出とも89億3,633万1千円で前年度と比較して7億9,069万8千円、9.7%の増となっており、主な要因は、平成27年度から保険財政共同安定化事業の対象が全ての医療費に拡大され、共同事業交付金及び拠出金がおおよそ2倍になったことによるものです。被保険者数は、一般被保険者、退職被保険者とも減と見込んでいることから、歳出の保険給付費は減少するものの、保険税収入も減少すると見込んでいる。保険税収入で不足する財源を保険給付費支払基金からの繰入で補てんすることとしています。

次に、志木駅東口地下駐車場事業特別会計は、予算額は、歳入歳出とも5,302万4千円で前年度と比較して571万2千円、12.1%の増となっている。歳入は指定管理者からの納付金、歳出は建設に伴う借入金の返済が主なものとなっている。

次に、介護保険事業特別会計は、予算額は、歳入歳出とも36億7,101万6千円で、前年度と比較して3億6,443万1千円、11.0%の増となっている。主な要因は、保険給付費の増によるもののほか、3年ごとに見直しをする介護保険料の改定によるものとなっているまた、地域の介護拠点である高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)を4か所から5か所に増設する。

次に、後期高齢者医療特別会計は、予算額は、歳入歳出とも7億9,814万円で、前年度と比較して3,439万4千円、4.5%の増となっている。

主な要因は、被保険者数の増加による医療給付費を含めた支出の増加や、制度運営する埼玉県後期高齢者医療広域連合が平成26年度から保険料率を改定したことによるものです。なお、均等割42,440円、所得割8.29%、賦課限度額57万円としている。主な支出は、埼玉県後期高齢者医療広域連合への納付金等となっている。

企業会計として、水道事業会計2,189,490千円、前年度と比較して32,396万円、17.4%の増となっている。下水道事業会計2,756,424千円で前年度と比較して3,225万9千円、1.2%の増となっている。

なお、当初予算編成後の平成27年度末基金残高見込みは、財政調整基金残高は、13億3千万円程度、公共施設安心安全化基金残高は、15億7千万円程度となっている。

### 3) 平成26年度志木市一般会計及び特別会計補正予算について（総務部）

#### ○概要説明：総務部長

平成27年2月20日に開会する平成27年第1回市議会定例会に平成26年度志木市一般会計及び特別会計補正予算案を上程する。

今回上程する予算案は、平成26年度一般会計補正予算（第6号）については、補正前予算額21,848,079千円、補正額▲77,316千円、補正後予算額は、21,770,763千円である。平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）については、補正前予算額8,707,077千円、補正額85,226千円、補正後予算額は、8,792,303千円である。平成26年度志木駅東口地下駐車場事業特別会計補正予算（第2号）については、補正前予算額55,773千円、補正額1千円、補正後予算額は、55,774千円である。平成26年度介護保険特別会計補正予算（第3号）については、補正前予算額3,403,747千円、補正額85千円、補正後予算額は、3,403,832千円である。平成26年度介護保険特別会計補正予算（第2号）については、補正前予算額763,746千円、補正額1,820千円、補正後予算額は、765,566千円である。主な内容については、決算見込みによる補正や国庫補助金などの特定財源の発生に伴う補正、国の補正予算による経済対策分、年度内の執行が難しいものについての繰越明許費の設定などである。

まず、一般会計の総括的事項として、54事業で補正予算額合計は、▲77,

316千円となった。財源内訳としては、国庫支出金が、▲7,884千円、県支出金59,278千円、地方債が、▲130,300千円、その他が、▲111,112千円、一般財源112,702千円である。このうち、経済対策に係るものは、6事業で、補正予算額合計としては、148,388千円で、財源内訳としては、国庫支出金が、104,000千円、県支出金が、30,000千円、一般財源が、14,388千円である。

次に、補正後の予算額等であるが、補正前予算額、21,848,079千円に、補正予算額▲77,316千円で、補正後予算額は、21,770,763千円である。

なお、財政調整基金残高は、3月補正基金積み増しとして、337,667千円、12月補正後基金残高見込みは、2,357,181千円であり、3月補正後基金残高見込みは、2,694,848千円である。また、公共施設安心安全化基金残高は、3月補正基金積み増しとして、1,965千円、3月補正繰入戻しとして、▲78,984千円、12月補正後基金残高見込みが、1,735,363千円であり、3月補正後基金残高見込みは、1,816,312千円である。

なお、繰越明許費については、地方版総合戦略策定事業、志木市デマンド交通導入実証実験事業、発達支援相談、空き店舗活性化事業、地域消費推進プレミアム付商品券発行事業、まちおこし活性化事業、住宅耐震診断及び改修補助事業の全7事業である。

また、国民健康保険特別会計補正予算については、国県支出金の償還金の増により、総額およそ85,000千円の増となっている。

次に、志木駅東口地下駐車場特別会計補正予算については、基金運用利子額が当初の見込みを上回ったことに伴う志木駅東口地下駐車場管理基金利子1千円を積み立てる増補正である。

次に、介護保険特別会計補正予算についてであるが、基金運用利子額が当初の見込みを上回ったことに伴う増である。補正額としては、85千円である。

次に、後期高齢者医療特別会計補正予算については、高齢者の医療の確保に関する法律が改正され、5割軽減・2割軽減に係る所得限度額が引き上げられたことによる対象者の増に伴う一般会計からの繰入金増であり、補正予算額1,820千円である。

#### 4) 平成26年度志木市下水道事業会計補正予算(第1号)について(上下水道

部)

まず、下水道事業会計の収益的収入及び支出のうち、雨水管渠の修繕にかかる事業の一部を資産形成にかかるものとし、雨水処理負担金及び雨水管渠費を減額し、資本的収入及び支出である他会計負担金及び雨水管渠整備費を同額分増額する。

また、館第一排水ポンプ場の管理及び執行に関する事務の委託に関する規約に基づき、3条予算において発生する同ポンプ場の維持管理にかかる収支の余剰金分等を4条予算へ移動させ、基金に積み立てるための予算科目を整備する。

これにより、収益的収入及び支出であるが、収入は、補正前が2,041,366千円に対し、補正額として、雨水処理負担金が△42,450千円であり、補正後は、1,998,916千円とする。また、支出としては、補正前1,978,380千円に対し、補正額が、雨水管渠費で△42,450千円、雑支出で、7,200千円、補正後は、1,943,130千円である。

資本的収入及び支出については、収入は、補正前495,209千円に対し、補正額は、他会計負担金として、42,450千円、諸収入、7,200千円で、補正後は、544,859千円である。また、支出としては、補正前745,785千円に対し、補正額は、雨水管渠整備費で、42,450千円、積立金で、7,001千円で、補正後は、795,236千円である。

#### 【その他事項】

特になし

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。